



竹田陽一の独立起業物語

【マル秘メルマガ】より 1通目その1

それは墓参りから始まった

2015年8月19日、ランチェスター先生のお墓に、英文によるランチェスター戦略の本「THE LANCHESTER STRATEGY FOR MANAGEMENT」を捧げることができたときは、思わず胸がジーンと熱くなりました。

初めてランチェスター先生の墓参りに行ったのは1985年のことで、ちょうど30年目7回目の墓参りで長年の念願が達成できました。

初めてイギリスにランチェスター先生の墓参りに行ったのは、1985年12月でした。

情報はゼロ同然でしたが、幸いランチェスター先生の末弟ジョージ氏の奥さんと会うことができました。

奥さんの紹介でランチェスター先生の資料を多く集めているコベントリー大学の図書館長、フレッチャー氏を紹介してくれました。

次の日、通訳とともに、コベントリー大学の図書館を訪れたところとても歓迎してくれ、ランチェスター先生に関する資料のコピーをいくつかくれました。

私が「日本ではランチェスターの法則を経営に応用している」と言うとフレッチャー氏は少し驚いて、「ランチェスターの法則は戦闘についてであるが、これが経営にどのように役立つのか」と聞きました。「それはこうです」と言いたいのですが、私は英語が全くできません。通訳さんもガイドレベルですから、日本で説明されているランチェスター戦略を説明することができません。

そのとき「将来必ずや英文ランチェスター戦略の本を出そう」と思いました。

次の年、フレッチャー氏からランチェスター法則が書かれている原書と、ランチェスター先生の生涯について書いた伝記の本など、貴重な資料を何冊もプレゼントされました。

英文によるランチェスター戦略の本は2014年4月末から、2カ月半かけて英文用の原稿を書きました。

イギリスでは日本の地名や歴史上の人物は全く知られていないので、英文用はよほど注意しないと良い本になりません。

その後翻訳業者に翻訳を頼み、本が完成したのは7月21日（火）でした。

この本を持ってイギリスに行き、ランチェスター先生のお墓に捧げる事ができました。

思えば30年目の念願達成になります。

私がどのような事情で起業することになったかを初め、なぜ私がランチェスター先生の墓参りにこだわるのか、以下にこの事情を紹介します。

かなり長くなるので数回に分けて配信しますが、これまで知られていない事実がいくつかつかめるはずですから、最後まで読んで下さい。

ランチェスター経営（株） 竹田陽一



ランチェスター経営（株）



〒810-0012 福岡市中央区白金1-1-8 チュリス薬院 301

TEL 092-535-3311 FAX 092-535-3200

メールアドレス customer@lanchest.co.jp HP <https://www.lanchest.com>